

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年6月24日(木) 4校時
 児 童 男子10名 女子5名 計15名
 指導者 芳賀裕子

- 1 単元名 本とともだちになろう
 2 教材名 スイミー (光村図書2年上)
 図 書 レオ=レオ二作品他

読む目的：◎スイミーに手紙を書いて、友だちになろう。
 ◎本の紹介カードをつなげて「お話列車」をつくろう。

主たる言語活動：

- ・場面毎に読み取ったことをもとに、感想を書き表す。【活用1】
- ・読んだ本について、好きなところやおもしろいところを紹介する。【活用1, 3】

活用に結びつく基礎・基本

- ・「だれが」「いつ」「どこで」「何をした」か叙述に即して読む力
- ・せりふをつけたしたり、音読したりして想像を広げて読む力
- ・物語を読んで、自分の感想をまとめる力

3 研究主題にせまるための授業改善に関わる提案

(1) 視点1に関わって

物語文の大体の内容を読み取れるように、読むポイントを提示する。

物語を読むポイント10(白石範孝先生)を参考にして、読み取りのスキルを高めたい。
 本単元では、③登場人物、④中心人物、⑤事件、⑨お話を一文で書くことに重点を置き繰り返し学習する。教材文の学習の始めに書いた一文と後に書いた一文との読みの変化も評価していきたい。

(2) 視点2に関わって

場面毎に自分の感想を入れて手紙に表す。

「いつ一場面の終わりに」「何のために一登場人物に親しみを持ち、感想をもって読ませるために」「何を一自分の感想を入れた手紙を」「どんな条件で一原稿用紙で字数を決め、親しみのある文末で」書かせる。また、自分の経験と結びつけた感想、叙述に根拠をもった感想を表現できるようにさせたい。

4 単元の目標

(1) 単元の目標

- ◎ 登場人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読んだり、スイミーに手紙を書いたりして、話を楽しむ。
- ◎ 友達にも読んでもらいたい本を決め、紹介しあって読書への興味を高める。

(2) 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	好きな本を探して、興味をもって読んでいる。
書くこと	自分の感想を入れて、スイミーに手紙を書いている。 読んだ本について、おもしろかたところ、好きなところを書いている。
読むこと	さし絵も参考にしながら、登場人物の行動を中心に、想像を広げながら読み、場面毎に感想をもっている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	比喩・体言止め・倒置法などの表現のおもしろさに気づいている。
改善の視点1	読むポイントについて、文章から読みとろうとしている。 中心人物や事件をとらえ、物語の内容を一文で表すことができる。
改善の視点2	自分の経験と結びつけた感想や「どういうところから、どんなことを思ったのか」の感想を手紙に書くことができる。
振り返り	3つの内容を書くことができる。 ①お話を一文で表す ②できるようになった力 ③楽しかった活動

5 指導と評価の計画（指導時数14時間）

段階	時間	おもな学習活動	教師の工夫
一次	3	<p>1 読書へ興味をもち、学習の目的をもつ。</p> <p>(1)レオ＝レオ二の絵本を読み聞かせ、読んでおもしろいところを紹介するという単元の目的をもつ。</p> <p>(2)「スイミー」の絵本の読み聞かせを聞き、紹介文を書いてみる。</p> <p>(3)教材文を読み、手紙を書いてスイミーに感想を伝えるという読みのめあてをもつ。 ・学習計画を立てる。 ・新出漢字や語句の確認をする。</p>	<p>☆レオ＝レオ二作品等の本を並行読書する</p> <p>1 (2) ・③を自由に書かせる。 ①本の題名 ②作者 ③おもしろいところ、いちばんすきな所 ④呼びかけ ⑤自分の名前</p> <p>1 (3) ・話の内容をおおまかにつかむための『物語を読むポイント10』を提示する。(視点1)</p>
二次	7 習得	<p>2 場面の様子について、想像を広げながら読み、場面毎にスイミーに手紙を書く</p> <p>(1)兄弟たちと楽しくくらすしている場面</p> <p>(2)まぐろにおそわれて、独りぼっちになった場面</p> <p>(3)だんだん元気を取りもどす場面</p> <p>(4)(3)の表現のおもしろさ</p> <p>(5)岩陰にいる小さな魚たちに出会う場面</p> <p>(6)考えがひらめき、大きな魚を追い出す場面</p>	<p>2 (1)～(6) ・一単位時間の始めに、読むポイントに沿って内容を確認する。くり返すことでステップアップできるようにする。 ①いつ ②どこで ③だれが など (視点1)</p> <p>2 (1)～(6) ・手紙を書く条件を与え、繰り返しにより、感想を表す力を高める。 ①原稿用紙に ②「どんなところからどんなことを思ったか」 ③自分だったら、どうか ④親しみをこめた文末で「～だね」「～よ」 (視点2)</p>
	本時	<p>3 「スイミー」の話の紹介文を再度書く。</p>	<p>3 ・場面毎に書いた手紙は、つなげてまとめ、物語のおもしろさを振り返る。紹介文に生かす。 ・第一次で書いた紹介文と読み比べる。</p>
	活用		
三次	4 活用	<p>4 レオ＝レオ二等の作品を読んで、紹介文を書き、『お話しカード』を作る。</p> <p>(1)おもしろそうな本をさがして読む</p> <p>(2)紹介カードを書く。</p> <p>(3)読み合い、『お話しカード』を作る。</p> <p>(4)夏休みの読書計画を立てる。 ・単元の振り返りをする。</p>	<p>4 (1) ・『こんなお話カード(ポイント10を書き込むための用紙)』を活用させ、話の内容を整理させる。(視点1) ・並行読書してきた本を紹介させる。</p> <p>4 (4) ・読書を楽しみ、おもしろいところを紹介できたか振り返り、次の読書意欲につなげる。</p>

6 本時の指導

(1) 本時の目標

【読むこと】元気を取り戻したスイミーが、小さな赤い魚たちを見つけて話しかけたときの気持ちを想像して読むことができる。

(2) 展開

段階	学習内容とおもな活動	教師の支援 評 評価
つかむ 7分	1 前時の学習を想起する 2 学習課題をつかむ どのな スイミーに手がみを書こう	・ 教師の支援 評 評価 ・ 視点に関わる工夫 ・ 元気を取り戻したスイミーへの手紙を紹介する。 ・ 本時はどんなスイミーか、意欲をもたせる。
たし かめ る 25分	3 音読する。 4 叙述に即して読む。 ・ だれが→ 「スイミーのとそっくりの、小さな魚のきょうだいたち」 「小さな赤い魚たち」 ・ どこで→ 岩かげ 5 スイミーの気持ちを想像して読む (1) どうして岩かげにはいけないのか考える。 (2) スイミーの気持ちが強く出ている表現を探す。 (3) スイミーの気持ちを想像して、音読する。	・ 句読点、言葉のまとまりに気をつけさせる。 視点1に関わる主な支援 「だれが」を、本文の言葉から探させる。ペアで考えさせることにより、どの児童も言葉に着目できるようにさせる。 ・ 表現の工夫(倒置法)にも気づかせる。 評 (おおむね満足できる状況 B) 「だけど、いつまでもそこにじっとしているわけにはいかないよ。」に続くせりふを考えて書いたり、音読を工夫したりしている。 ○ Cの子への支援 友だちの発表をヒントにし、「じっとしているとどうなるか」考えさせる。 (吹き出し、音読)
まとめる る 13分	6 スイミーに手紙を書く (1) スイミーに手紙を書く。 (2) 手紙を発表し合う。 7 学習を振り返る ・ 場面のおもしろ度チェック 8 次時の予告	視点2に関わる主な支援 手紙を書くときの条件を確認する。 ①原稿用紙に ②「どんなところからどんなことを思ったのか」 ③自分だったら ④友だちのように「だね」「～よ」 評 本時のスイミーに手紙を書くことができたか。(手紙) ・ 第4場面の後半、スイミーの思いついた作戦について読み取ることを知らせる。

7 板書 (簡略化)